

## 平成16年度 杉並区施策評価表

施策番号	12	施策名	水辺とみどりの保全・創出			上位政策名	うるおいある美しいまちをつくるために			
施策担当課	都市整備部公園緑地課					関係課	都市整備部公園緑地課、建設課			
施策の概要	対象	区民、区立施設	施策の目標	都市と自然環境が調和した健康で快適な生活環境を創出するため、区民、事業者、区とのパートナーシップのもと、総合的な施策を通して水辺とみどりの保全・創出をはかる。						
	成果目標	自然環境と調和の取れたまちづくりに向け、区内に点在する公園、道路、川、屋敷林などのみどりの資源を充実しながら有機的に結び付け、みどりの豊かさが実感できるまちとするため、みどりのベルト計画を策定し具現化するなど、みどり39プランを総合的に推進していく。また、循環型社会形成への取り組みのひとつとして、庭木などの維持管理により発生する剪定枝や落ち葉を可能な限りリサイクルするための仕組みの創設・運用をはかる。								
施策を取り巻く環境等 (動き、区民意見等)	昭和47年より5年ごとに実施している区内のみどりの実態を把握する調査では、6回目の平成9年度調査まで緑被率の減少傾向がみられたが、平成14年度調査の結果では、緑被率の増加がみられみどりの回復傾向がうかがえる。しかし、今後も宅地の細分化や相続などによるまとまったみどり、特に私的なみどりの喪失が懸念される。一方、区民の生活環境への関心や地域緑化へのボランティア指向の高まりなど、区民による緑化活動が芽生え始めており、21世紀ビジョンが目指す「区民が創るみどりの都市杉並」の実現へ向け、これまで以上に区民との協力関係に立った緑化施策の推進が求められている。									
施策コスト (単位千円)	区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	特記事項:					
	事業費	168,765	195,648	164,306						
	(内)委託費	96,942	127,198	116,242						
	職員数(人) (正規   非常勤)	12.21	11.70	12.30						
	人件費	109,817	105,230	110,626						
	総事業費( + )	278,582	300,878	274,932						
	(財源)国・都等からの支出金									
	総事業費伸び率		8.0	8.6						当該年度総事業費 / 前年度総事業費、単位%
	人件費比率	39.4	35.0	40.2						人件費 / 総事業費、単位%
活動指標	指標名	算式		単位						平成13年度
	(代)総発行部数			部	39,600	52,000	51,000			
	(代)接道部緑化助成延長累計			m	2,940	3,414	3,838			
	保護樹木・樹林・生けがき件数			件	743	750	762			
	緑化計画書受理件数			件	554	622	628			
協働等	協働が実現している事業	みどりの情報発信、みどりの基金の活用、みどりの講座の開催、みどりのイベントの開催、みどりの育成協定、生けがき協定、みどりの基金(積立金)、学校のエコアップ、みどりのリサイクル、苗木等の育成活用、公共施設の緑化、区営苗圃の維持管理、保護樹木・保護樹林・保護生けがき・貴重木の補助、生き物生息場所の保全創出、市民緑地の設置及び管理								
	主な協働の手法	区民によるボランティア活動、業者委託								

成果指標	指標名 及び 計算式	成果・現状値			単位	目標値		
		平成13年度	平成14年度	平成15年度		平成	30	年度末
		緑被率(みどりが占める面積÷区域面積)		20			%	
緑地率(緑地面積÷区域面積)		10		%		15		
接道部緑化率(道に面したみどり総延長÷接道部総延長)		19		%		20		

施策を構成する状況	重点事業に位置付けられる事務事業	みどりの基金の活用、みどりの基金(積立金)、公共施設の緑化、緑化の助成、
	費用対効果の高い事務事業	みどりのイベントの開催、みどりのボランティア
	見直すべき事務事業	苗木等の育成活用
新規事業		

施策の総合評価	指標の変化	指標については5年ごとに実施の「みどりの実態調査」の数値を指標にしているので14年度の数値である。
	当面の達成成果目標の	緑被率については、平成14年度の「みどりの実態調査」で20%を超え、目標値を達成したが今後はこの維持を図る。またみどりのベルトづくり計画とみどりのリサイクル計画については平成15年度に懇談会報告を受けた。これを受けて平成16年度中に計画を策定する。
	政策への貢献度	公共のみどりと私的なみどりの維持拡充を進める。また新たな緑化運動としてのみどりのベルトづくり計画、みどりのリサイクル計画を通して、うるおいのある美しいまちづくりに貢献する。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
今後の施策のあり方	杉並区の緑については平成14年度のみどりの実態調査では緑被率が20%を超し、みどりの減少傾向から一定の歯止めがかかったように見える。しかし私的なみどりの減少は敷地の細分化に伴う屋敷林の伐採、農地の宅地化など減少の傾向は変わっていない。このことを踏まえ公的なみどりの拡充とともに私的なみどりの拡充は今後のみどりのベルトづくりの中でも進めてゆくことが必要である。このためには区民、事業者、区の協働の推進が重要である。

平成16年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業 - 15年度の数値)

【施策番号:12】【施策名: 水辺とみどりの保全・創出】

費用の単位は千円

No.	評価番号	評価対象事業名	位置付	事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都等 からの 支出金	コスト	成果	協働 等	相対 性	主たる 指標 の値	単位	主たる指標の名称、式
				(内)委託費	正規	非常勤											
1	634	みどりの情報発信	実計	4,530	2,656	0.40		3,598	8,128		維持	増	継続		51,000	部	みどりの新聞発行部数/年
2	638	みどりの基金の活用	実計	129	0	0.30		2,698	2,827		維持	増	継続	重点	54	人	助成団体構成員数
3	639	みどりの講座の開催	実計	366	0	0.40		3,598	3,964		維持	維持	推進		7	回	講座開催数(コマ数)
4	640	みどりのイベントの開催	実計	86	0	0.40		3,598	3,684		維持	維持	推進	効果	1	回	イベント開催数
5	641	みどりのボランティア	実計	245	0	0.90		8,095	8,340		維持	増	直轄	効果	80	人	登録者数
6	642	みどりの相談所	実計	3,085	1,460	0.10		899	3,984		増	増	推進		5,210	件	相談件数累計
7	643	みどりの育成協定	実計	277	0	0.20		1,799	2,076		維持	維持	継続		21,800	m <sup>2</sup>	育成協定面積
8	644	生けがき協定	実計	107	0	0.20		1,799	1,906		増	増	直轄		14	件	生けがき協定数(累計)
9	645	みどりの基金(積立金)	実計	3	0	0.10		899	902		増	増	継続	重点	1,746	千円	年間総基金寄付額
10	646	学校のエコアップ	実計	13,503	13,503	1.17		10,523	24,026		維持	増	推進		113	m	接道部緑化整備延長
11	647	みどりのリサイクル	実計	1,890	1,890	0.72		6,476	8,366		維持	維持	継続		441	t	発生材の資源化量
12	648	苗木等の育成活用	実計	3,547	3,546	0.50		4,497	8,044		減	維持	継続	見直	5,636	本	苗木の配布数
13	649	公共施設の緑化	実計	69,348	69,348	1.20		10,793	80,141		増	増	継続	重点	113	m	接道部緑化整備延長
14	650	区営苗圃の維持管理	実計	15,926	15,466	0.50		4,497	20,423		維持	増	推進		12,801	本	苗木の育成数
15	651	緑化の助成	実計	14,025	0	0.60		5,396	19,421		増	増	直轄	重点	3,838	m	接道部緑化助成延長累計
16	652	保護樹木・保護樹林・保護生 けがき・貴重木補助	実計	28,211	728	1.30		11,692	39,903		維持	維持	直轄		762	件	保護樹木、保護樹林、生けがきの件数
17	653	緑化指導	実計	2,957	2,697	2.71		24,374	27,331		維持	増	直轄		628	件	緑化計画書受理件数
18	654	生き物生息場所の保全創出	実計	676	0	0.15		1,349	2,025		維持	維持	推進		1	個所	保全個所数
合計				158,911	111,294	11.85	0.00	106,579	265,490	0							

平成16年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業 - 15年度の数值)

【施策番号:12】【施策名: 水辺とみどりの保全・創出】

費用の単位は千円

評価 番号	評価 番号	評価対象事業名	位置 付	事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都等 からの 支出金	コス ト	成果	協働 等	相対 性	主たる 指標 の値	単位	主たる指標の名称、式
				(内)委託費	正規	非常勤											
19	688	市民緑地の設置及び管理	実計	192	160	0.10		899	1,091		維持	維持	推進		2,112	m <sup>2</sup>	市民緑地面積
20	584	憩いの水辺創出	実計	5,203	4,788	0.35		3,148	8,351		減	増	直轄		1	個所	河川内湧水整備個所
								0	0								
								0	0								
								0	0								
								0	0								
								0	0								
								0	0								
								0	0								
								0	0								
								0	0								
								0	0								
								0	0								
								0	0								
								0	0								
								0	0								
合計					5,395	4,948	0.45	0.00	4,047	9,442	0						

# 平成16年度 杉並区施策評価表

施策番号	13	施策名	公園づくり				上位政策名	うるおいのある美しいまちをつくるために						
施策担当課	都市整備部 公園緑地課					関係課								
施策の概要	対象の	区立公園・予定地・遊び場・公衆便所 公園利用者・地域の団体	施策の目標	現状のみどりを守るだけでなく、公園・緑地等の整備を進め区民のニーズにあった多様なオープンスペースを創り、みどりの総量増を目指す。また、既存公園・緑地等が持つ機能の維持や特色のある公園として再整備することにより、利用者の安全・快適な利用を確保し、地域に密着した魅力ある公園づくりを目指す。										
	成果目標	公園の整備では、国・都からの補助金を活用し公園等用地の確保に努め、公園の計画段階から区民参加によるワークショップ方式等を導入し、区民との協働による公園づくりを行う。16年度に柏の宮公園(面積約4.3ha)、17年度に(仮称)読書の森公園(面積約1780㎡)、18年度には(仮称)天沼公園(面積約5300㎡)の完成を予定している。また、公園の維持管理については、新たに導入する「すぎなみ公園育て組(アダプトプログラム)で区民との協働による公園管理運営体制を目指す。												
施策を取り巻く環境等(動き、区民意見等)	社会経済情勢は依然として厳しい中、国費・都費を活用して防災拠点としての大規模な公園の整備を行っている。既設公園の老朽化と区民の質の高い維持管理の要望で、年々経費の増が必要である。また、計画的な維持管理を行うため、「杉並区公園維持管理指針」を作成した。													
施策コスト(単位千円)	区分	平成13年度	平成14年度		平成15年度		特記事項:							
	事業費	8,969,663	2,043,815		2,018,948		13年度の事業費については、柏の宮公園の用地費(単独分再取得費)を含む。							
	(内)委託費	380,930	375,236		712,055									
	職員数(人)(正規   非常勤)	44.63   31.00	45.98	50.40	46.19	49.40								
	人件費	486,931	552,598		551,727									
	総事業費(+)	9,456,594	2,596,413		2,570,675									
	(財源)国・都等からの支出金	8,394,606	1,420,012		1,274,856									
	総事業費伸び率		72.5		1.0						当該年度総事業費 / 前年度総事業費、単位%			
	人件費比率	5.1	21.3		21.5						人件費 / 総事業費、単位%			
活動指標	指標名	算式			単位	平成13年度					平成14年度	平成15年度		
	区立公園・緑地数				園	290	292	296						
	区立公園・緑地面積				㎡	471,748	472,039	473,207						
	花咲かせ隊参加団体				団体	40	53	68						
	区民一人当たり区立公園面積				㎡	0.93	0.93	0.93						
協働等	協働が実現している事業	1、地域の名所づくり 2、花咲かせ隊 3、柏の宮公園の整備 4、身近な公園整備												
	主な協働の手法	1、地域の名所づくり 小学校児童による樹名板作成・植樹祭への参加。2、花咲かせ隊 区は花材を提供したりアドバイスを行う。活動団体は、それぞれ創意工夫しながら植付けや花壇の管理を行う。3、4、柏の宮公園の整備、身近な公園整備 ワークショップ方式による区民参加での計画づくり。												

指標名 及び 計算式	成果・現状値			単位	目標値		
	平成13年度	平成14年度	平成15年度		平成	30	年度末
一人あたりの公園緑地面積(都立公園含む) 公園・緑地等面積/人口	1.77	1.76	1.76	m <sup>2</sup>			5.00
公園等自主管理個所数、割合	14	18	23	%			50

施策を構成する状況	重点事業に位置付けられる事務事業	柏の宮公園の整備、身近な公園整備、公園改修、特色ある公園づくり、花咲かせ隊、
	費用対効果の高い事務事業	
	見直すべき事務事業	遊び場対策
	新規事業	

施策の総合評価	指標の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会経済情勢の厳しい中、新たな公園・緑地用地の確保が困難であり、近年の新設公園は開発行為による提供公園が殆どであるため、規模は「都市緑地」程度で小さく、区民一人当たりの公園面積が増えていない。</li> <li>・公園等の維持管理については、すべてを区民等の自主管理にすることは難しいため、各々の役割分担を明確にし新たな公園管理体制を確立するための調整が必要になってきている。</li> </ul>
	当面の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備中の地域公園(仮称)柏の宮公園(面積約4.3ha)は平成16年度開園を予定しており、開園後の公園利用等について検討するため、区民等により組織された「管理運営検討懇談会」が自主的に活動している。また、平成22年度には防災公園として(仮称)桃井中央公園(面積約4.0ha)が開園予定であり、区民一人当たりの公園面積の増が見込まれる。</li> <li>・「杉並区公園維持管理指針」に基づき、計画的な維持管理を行う。また、「花咲かせ隊」「みどりのボランティア杉並」「すぎなみ公園育て組」など区民との協働による新しい公園運営体制の確立を図る。</li> </ul>
	政策への貢献度	「公園維持管理指針」に基づき計画的な維持管理を行い、今あるみどりを守り育てると共に、新たな公園・緑地の確保を図ることにより、うるおいのある美しいまちづくりに貢献している。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
今後の施策のあり方	公園・緑地等の整備は国・都からの補助金を活用し用地の確保に努め、既存の公園については特色のある公園に再整備し、地域に密着した魅力ある公園づくりを行う。また、維持管理については区民との協働による新しい公園維持管理体制の確立を図る。

平成16年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業 - 15年度の数値)

【施策番号:13】【施策名:公園づくり】

費用の単位は千円

評価 番号	評価対象事業名	位置 付	事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都等 からの 支出金	コス ト	成果	協働 等	相対 性	主たる 指標 の値	単位	主たる指標の名称、式	
			(内)委託費	正規	非常勤												
1	656	公園維持管理		470,154	361,122	32.50	43.80	413,149	883,303		増	増	推進		1,369	件	区民要望件数
2	660	区立公園事務所の管理運営		21,879	11,312	1.30	5.60	27,143	49,022		増	増	直轄		8	園	対象事務所数
3	662	遊び場対策		26,641	22,749	2.13		19,157	45,798		維持	増	直轄		41,052	m <sup>2</sup>	遊び場管理面積
4	665	(仮称)柏の宮公園の整備	実計	1,305,027	221,378	2.00		17,988	1,323,015	1,274,856	維持	維持	推進	重点	39,552	m <sup>2</sup>	当該公園用地取得累計面積
5	666	身近な公園整備	実計	114,072	21,783	1.95		17,538	131,610		増	増	推進	重点	4	園	当該年度に造成した身近な公園数
6	667	公園改修	実計	29,275	29,243	1.20		10,793	40,068		増	増	直轄	重点	2	園	当該年度改修公園個所数
7	669	特色ある公園づくり	実計	5,565	5,565	0.60		5,396	10,961		増	増	直轄	重点	2	コース	当該年度整備した木と花のコース数
8	670	地域の名所づくり	実計	24,883	24,864	1.20		10,793	35,676						2	園	花の名所整備個所数
9	671	公衆便所の維持管理		14,855	10,978	1.51		13,581	28,436		増	増	直轄		17	個所	公衆便所数
10	692	公園の適正利用の指導		3,061	3,061	1.20		10,793	13,854		減	増	直轄		40	園	夜間警備対象公園数
11	693	花咲かせ隊		3,536	0	0.60		5,396	8,932		減	増	継続	重点	68	団体	花咲かせ隊への参加団体数
12								0	0								
13								0	0								
14								0	0								
15								0	0								
16								0	0								
17								0	0								
18								0	0								
合計				2,018,948	712,055	46.19	49.40	551,727	2,570,675	1,274,856							

# 平成16年度 杉並区施策評価表

施策番号	14	施策名	まちの景観づくり		上位政策名	うるおいのある美しいまちをつくるために			
施策担当課	都市整備部まちづくり推進課				関係課	都市整備部土木管理課			
施策の概要	対象の	区民、事業者、公共団体、地権者、公共施設敷地、屋外広告物、屋外広告物設置者・管理者	施策の	目標	景観に配慮した魅力ある公共施設づくりや、区民・事業者・行政の協働による景観まちづくりの展開により、美しくうるおいのあるまちなみ形成の実現を目指す。				
	成果目標	区民意向調査における生活環境評価点(街なみの美しさや落ち着き)の向上を目標とする。							
施策を取り巻く環境等 (動き、区民意見等)	今年度、景観法の制定及び屋外広告物法の一部改正があり、景観の意義やその整備・保全の必要性を国政の重要課題として位置づけられ、区のこれまでの景観に対する取組みをバックアップする制度ができた。また、電柱等に無断で貼り付けてある違法な立看板やはり紙が、まちの美観を損ねていたり、危険であるとの指摘を受けることが多い。								
施策コスト (単位千円)	区分	平成13年度	平成14年度		平成15年度		特記事項:		
	事業費	32,780	4,562		12,756				
	(内)委託費	999	994		10,182				
	職員数(人) (正規   非常勤)	3.65	4.64	4.02					
	人件費	32,828	41,732		36,156				
	総事業費(+)	65,608	46,294		48,912				
	(財源)国・都等からの支出金				3,675				
	総事業費伸び率		29.4		5.7		当該年度総事業費 / 前年度総事業費、単位%		
	人件費比率	50.0	90.1		73.9		人件費 / 総事業費、単位%		
活動指標	指標名	算式			単位	平成13年度	平成14年度	平成15年度	
	景観新聞の発行				部	15,000	15,000	15,000	
	まちづくりニュースの発行				部	6,000	6,000	6,000	
	屋外広告物許可申請件数				件	203	212	235	
協働等	協働が実現している事業	大田黒公園周辺地区景観まちづくり 中杉通り沿道周辺地区景観まちづくり まちかど修景事業 屋外広告物許可・取締							
	主な協働の手法	中杉通り沿道周辺地区景観まちづくりにおいては、地元企業とまちづくり展示を協賛で行ったり、まちづくりニュースの配布を行ってもらっている。 違反広告物の除去については、平成15年度有志3団体の協力を得て、試行的に区民の自主的な除去活動を実施した。							



指標名 及び 計算式	成果・現状値			単位	目標値		
	平成13年度	平成14年度	平成15年度		平成	18	年度末
成果指標 杉並区のまちを美しいと思う人の割合 * 13年度は参考数値	29.1	63.8	62.8	%			70
誘導施策対象地区面積率 (大田黒公園周辺地区面積 + 中杉通り沿道 周辺地区面積 / 杉並区面積)	2.8	2.8	2.8	%	設定困難		
違反看板等の撤去数	14,761	14,104	13,954	件	目標のあるものでない		

施策を構成する状況	重点事業に位置付けられる事務事業	景観まちづくりの普及・啓発、大田黒公園周辺地区景観まちづくり
	費用対効果の高い事務事業	中杉通り沿道周辺地区景観まちづくり、屋外広告物許可・取締
	見直すべき事務事業	まちかど修景事業
新規事業		

施策の総合評価	指標の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>杉並区のまちを美しいと思う人の割合は、この2年については、ほぼ3人に2人がそう思っている。</li> <li>誘導施策対象地区面積率は、新たな誘導施策対象地区がないため、変化していない。</li> <li>違反看板等の撤去数は、目標のあるものではないが、この3年についてはほぼ同数である。</li> </ul>
	当面の達成率・目標の状況	杉並区のまちを美しいと思う人の割合は、この2年間平均点は超えているが、ほぼ横ばいである。誘導施策対象地区面積率は、住民の主体性に大きく影響を受けるので、目標の設定は難しい。違反看板等の撤去数は、目標のあるものではない。
	政策への貢献度	イベント等による景観まちづくりの普及・啓発活動や、区民や事業者がまちなみ形成に主体的に取り組むための支援等を行うことで、うるおいのある美しいまちづくりを推進することができる。屋外広告物は、都市景観の構成要素として重要であり、設置場所、色彩、形状についての適正な規制を行うことや、違反広告物の除去等を行うことが、まちの美観向上につながる。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
今後の施策のあり方	<p>区はこれまで、「まち」デザイン賞等の普及・啓発活動、大田黒公園周辺地区等の区民参画による景観まちづくりに取り組んできた。この実績を生かし、今後は景観ガイドラインの策定(平成17年度)、景観計画の策定・景観条例の制定(平成20年度まで)等により、杉並区における景観形成の理念や目標、具体的施策を明らかにし、今以上に杉並らしい魅力あるまちなみの形成を推進する。</p> <p>また、屋外広告物については、台帳と許認可事務のO A化(平成16年度)を進めるとともに、違反広告物の除去は、違反広告物除却活動協力員制度で地域との協働により実施し、まちの美観向上を目指す。</p>

平成16年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業 - 15年度の数値)

【施策番号:14】【施策名:まちの景観づくり】

費用の単位は千円

No.	評価番号	評価対象事業名	位置付	事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都等 からの 支出金	コスト	成果	協働 等	相対 性	主たる 指標 の値	単位	主たる指標の名称、式
				(内)委託費	正規	非常勤											
1	534	景観まちづくりの普及・啓発	実計	1,458		1.32		11,872	13,330		増	増	直轄	重点	2.26	点	生活環境評価点(街なみの美しさや落ち着き)
2	535	大田黒公園周辺地区景観まちづくり	実計	6,376	5,723	1.10		9,893	16,269	3,675	増	増	直轄	重点	6,712	m <sup>2</sup>	住環境向上面積 = 地区計画届出面積
3	536	中杉通り沿道周辺地区景観まちづくり	実計	381		0.60		5,396	5,777		増	増	推進	効果	0.28	点	生活環境評価点(街なみの美しさや落ち着き) 区 平均生活環境評価点 - 阿佐谷地域生活評価点
4	537	まちかど修景事業	実計	4,488	4,459	0.40		3,598	8,086		減	増	直轄	見直	2.26	点	生活環境評価点(街なみの美しさや落ち着き)
5	562	屋外広告物許可・取締		53		0.60		5,396	5,449		増	増	推進	効果	111	%	屋外広告物許可申請件数前年度比率
6								0	0								
7								0	0								
8								0	0								
9								0	0								
10								0	0								
11								0	0								
12								0	0								
13								0	0								
14								0	0								
15								0	0								
16								0	0								
17								0	0								
18								0	0								
合計					12,756	10,182	4.02	0.00	36,156	48,912	3,675						

# 平成16年度 杉並区施策評価表

施策番号	15	施策名	環境美化の推進				上位政策名	うるおいのある美しいまちをつくるために					
施策担当課	環境清掃部環境課					関係課	都市整備部維持課						
施策の概要	対象の	区民、区内事業者、区への来訪者・通過者、区内公共施設	施策の目標	たばこの吸い殻や空き缶の投げ捨てをなくし、清潔で美しいまちを創り出し、区民の安全で快適な生活環境を整える。									
	成果目標	平成15年10月からの「杉並区生活安全及び環境美化に関する条例」(略称:安全美化条例)の施行に伴い、路上喫煙禁止地区を指定していくことで、ポイ捨てなどの実効性が確保できる。また、クリーン大作戦を中心としたまちのクリーン運動の浸透を図ることにより、環境からのまちづくりのきっかけにする。											
施策を取り巻く環境等(動き、区民意見等)	安全美化条例の周知徹底や路上禁煙地区の指定により、歩行喫煙やポイ捨ての減少は評価されているが、さらに罰則規定による実効性を求めるなどの意見が区に寄せられている。クリーン大作戦については、年1回だけではなく、複数回もしくは、継続した実施を望む意見がある。												
施策コスト(単位千円)指標	区分	平成13年度		平成14年度		平成15年度		特記事項:					
	事業費	6,434		9,175		46,495		平成15年度から「生活環境の整備」事業の開始及び同事業による環境美化パトロールの委託により、事業費・委託費が大幅に増となる。					
	(内)委託費	3,620		4,393		16,563							
	職員数(人)(正規   非常勤)	1.37	1.70	2.03	1.20	5.08	1.30						
	人件費	17,012		21,569		49,276							
	総事業費(+)	23,446		30,744		95,771							
	(財源)国・都等からの支出金	0		0		0							
	総事業費伸び率			31.1		211.5						当該年度総事業費 / 前年度総事業費、単位%	
	人件費比率	72.6		70.2		51.5						人件費 / 総事業費、単位%	
活動指標	指標名	算式				単位	平成13年度					平成14年度	平成15年度
	クリーン大作戦参加団体数					団体	115	157	183				
	路上禁煙地区数					箇所			4				
協働等指標	協働が実現している事業	生活環境の整備 カラス被害対策											
	主な協働の手法	学識経験者、防犯協会、町会、商店会、公募区民、警察、消防等で組織された杉並区生活安全協議会で、路上禁煙地区の運用をはじめ、まちの美化に対する取り組みを協議していく。直営で実施できない箇所については委託している。											

指標名 及び 計算式	成果・現状値			単位	目標値		
	平成13年度	平成14年度	平成15年度		平成	17	年度末
クリーン大作戦参加人数(延べ人数)	10,105	11,421	11,464	人			13,000
ポイ捨てされた吸い殻数 (中杉通り+高南通り 1日平均)			359	本			250

施策の相対性	重点事業に位置付けられる事務事業	クリーン大作戦 生活環境の整備
	費用対効果の高い事務事業	あき地等の管理指導
	見直すべき事務事業	公共溝渠維持補修 カラス被害対策
新規事業		生活環境の整備

指標の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行喫煙者やポイ捨てされた吸い殻数ごみについては、路上禁煙地区内では、大幅な改善がみられている。</li> <li>・クリーン大作戦参加人数については、平成12年から年々増加し、秋期に実施する行事として定着してきている。</li> </ul>
当面の達成成果目標の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の環境美化への関心は高まる傾向にあり、今後は、さらに安全美化条例の周知を図り、路上喫煙禁止地区での改善状況を区内全域に拡大することにより、条例の実効性が確保できると考えられる。</li> <li>・区内事業者や区民が、生活している地域を自ら日常的に清掃することができるまで、クリーン運動を通して意識の変革を図る。</li> </ul>
政策への貢献度	環境美化の浸透を図り、地域への愛着心を育み、地域環境の美化意識の高揚など環境への配慮行動につながり、まちづくりに寄与できる。

今後の施策の方向	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
今後の施策のあり方	生活環境の悪化は、区民の安全や健康に直接に関わる問題であり、生活安全や環境美化に関し、安全美化条例の周知徹底などにより、区民等の意識の高揚及び自主的な活動を積極的に支援していく。

平成16年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業 - 15年度の数値)

【施策番号:15】【施策名:環境美化の推進】

費用の単位は千円

No.	評価番号	評価対象事業名	位置付	事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都等 からの 支出金	コスト	成果	協働 等	相対 性	主たる 指標 の値	単位	主たる指標の名称、式
				(内)委託費	正規	非常勤											
1	664	公共溝渠維持補修		2,478	2,478	0.08	0.00	720	3,198	0	維持	維持	継続	見直	19,967	m <sup>2</sup>	維持管理面積
2	688	クリーン大作戦		1,500	0	0.15	0.00	1,349	2,849	0	増	増	推進	重点	183	団体	参加団体数
3	689	あき地等の管理指導		13	0	0.95	0.30	9,372	9,385	0	増	増	直轄	効果	72	%	あき地等の適正管理処置率
4	690	生活環境の整備		40,798	12,379	3.00	0.20	27,534	68,332	0	維持	増	継続	重点	359	本	ポイ捨てされた吸い殻数
5	708	カラス被害対策		1,706	1,706	0.90	0.80	10,302	12,008	0	増	増	直轄	見直	224	件	カラス対応での出動件数
6								0	0								
7								0	0								
8								0	0								
9								0	0								
10								0	0								
11								0	0								
12								0	0								
13								0	0								
14								0	0								
15								0	0								
16								0	0								
17								0	0								
18								0	0								
合計				46,495	16,563	5.08	1.30	49,276	95,771	0							

# 平成16年度 杉並区施策評価表

施策番号	16	施策名	環境施策の枠組みづくり			上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能 なまちをつくるために			
施策担当課	環境清掃部環境課					関係課				
施策の概要	対象の	区民、区内事業者、区内公共公益事業者、行政、環境審議会は学識経験者	施策の	環境施策を円滑に推進するため、また、各施策を総合的・有機的に推進するための枠組みをつくり、区民・事業者・行政が協働することで、環境配慮行動を広く地域に定着させる。						
	成果目標の	環境博覧会は、毎年参加者が増え続けているが、今後もより多くの区民等の参加を目指し、16年度においては2万人の参加者を目指す。 環境審議会は清掃審議会との発展的な統合を図り、統合後における活気あるスムーズな運営を築いていく。 環境ライブラリーは、16年度からすぎなみ環境情報館での利用を開始し、環境に関する情報提供を図っていく。								
施策を取り巻く環境（動き、区民意見等）	<p>環境の世紀と言われる21世紀に入り3年が経過し、都市交通公害や河川の汚濁、オゾン層の破壊や酸性雨、ヒートアイランド現象、地球温暖化、生物多様性が失われつつあること、身近なものから地球規模のものまで今日の環境問題はたいへん幅広いものとなっている。</p> <p>京都議定書の発効は少し遅れているが、京都議定書から離脱しているアメリカで、大気研究センターと海洋大気局が、「地球温暖化は人間の活動が主要な原因であることが確実である」との結果を発表した。</p> <p>近年、国、都においても、地球温暖化対策に対する取組みに力を入れてきおり、区では、家庭用太陽光発電機器設置の助成を始め、予想を上回る応募があり、多くの区民がよりよい環境をつくるため、何かをしようと行動し始めている。</p>									
施策コスト（単位千円）	区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	特記事項：					
	事業費	13,931	39,573	22,599	毎年、施策を構成する事務事業が異なっているため、施策コストに変動が生じている。 13年度 8件 14年度 5件 15年度 6件					
	(内)委託費	63	14,864	8,260						
	職員数(人) (正規   非常勤)	4.90	6.74	9.73						
	人件費	44,071	60,620	87,512						
	総事業費( + )	58,002	100,193	110,111						
	(財源)国・都等からの支出金									
	総事業費伸び率		72.7	9.9						当該年度総事業費 / 前年度総事業費、単位%
人件費比率	76.0	60.5	79.5	人件費 / 総事業費、単位%						
活動指標	指標名	算式		単位	平成13年度	平成14年度	平成15年度			
	環境博覧会参加者数			人	11,587	16,119	16,500			
	環境博覧会参加・協力団体数			団体	77	120	133			
	環境審議会の開催日数			回	6	7	5			
	環境白書の発行部数			部	700	800	800			
協働等	協働が実現している事業	環境博覧会の開催 環境審議会運営 環境マップ								
	主な協働の手法	博覧会の運営を、NPO、ボランティア、企業、行政による実行委員会方式をとっている。 各種環境団体等からの推薦を受け、委員を委嘱し審議会を運営している。 専門業者によるメンテナンスを行いながら運営している。								

指標	指標名 及び 計算式	成果・現状値			単位	目標値	
		平成13年度	平成14年度	平成15年度		平成	年度末
		成果指標	環境博覧会参加率(参加者/区人口)	2		3	3
指標	環境博覧会参加・協力団体数	77	120	133	数		

施策の状況	相対性	重点事業に位置付けられる事務事業	環境博覧会の開催
		費用対効果の高い事務事業	環境審議会運営 杉並環境ライブラリー 杉並環境マップ
		見直すべき事務事業	環境清掃部一般管理 環境保全対策の推進
	新規事業	杉並環境ライブラリー 杉並環境マップ	

施策の総合評価	指標の変化	環境博覧会は、毎年参加者・協力団体数が伸び続けてきており、広く区民や地域に環境配慮行動を紹介する場(イベント)として定着しつつある。 環境審議会は、ここ数年、特に重要な案件がないためか6回程度の開催となっている。
	当面の達成状況	環境博覧会の開催 アンケート調査などを基に、毎年企画の見直しを図るとともに、マンネリ化しないための新しい企画・運営に取り組み、活気ある区民主体のイベントとしていくことにより、参加者数の増加を図る。 環境審議会運営 環境と清掃分野は相互に深い関係があることから、16年度に清掃審議会と発展的な統合を図り、より活発な審議会となる。
	政策への貢献度	環境博覧会は、生活スタイルの見直しなど環境配慮行動を実践する情報提供の場であって、より多くの参加者を得ることにより、地球規模の環境問題の解決や、循環型社会づくりにつながる第一歩となる。また、環境審議会は、環境博覧会など区の環境行政に関し、区民等の意向を区政に反映させる場であり、両事業を含めこの施策の貢献度は極めて高い。

今後の施策の方向	○ 拡充    ● サービス増    ○ 改善余地なし    ○ 効率化    ○ 縮小    ○ 統廃合
今後の施策のあり方	16年度には情報の収集、発信、交換の場として、「すぎなみ環境情報館」がオープンし、環境団体等のネットワークの拠点が整備され、ますます環境問題に関する区民の関心は高まることとなる。今後、環境施策の枠組みづくりをしていく上で、区民や環境団体等との協働は欠かせないものとなる。そのため、今まで以上に環境博覧会の運営や、審議会等への参加が求められるため、積極的に推進していく必要がある。

平成16年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業 - 15年度の数値)

【施策番号:16】【施策名:環境施策の枠組みづくり】

費用の単位は千円

No.	評価番号	評価対象事業名	位置付	事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都等 からの 支出金	コスト	成果	協働 等	相対 性	主たる 指標 の値	単位	主たる指標の名称、式
				(内)委託費	正規	非常勤											
1	680	環境清掃部一般管理		2,143		1.50		13,491	15,634		維持	維持	直轄	見直	48	%	予算執行率
2	681	環境博覧会の開催	実計	9,845		3.23		29,051	38,896		維持	維持	継続	重点	16,500	人	参加者数
3	682	環境保全対策の推進		1,947	388	1.00		8,994	10,941		維持	維持	直轄	見直	800	部	環境白書の発行部数
4	686	杉並環境ライブラリー		2,310	2,310	3.00		26,982	29,292		減	維持	推進	効果	3	回	データベース更新回数
5	691	環境審議会運営	行革	1,167	375	0.90		8,095	9,262		減	維持	継続	効果	5	回	開催回数
6	709	杉並環境マップ		5,187	5,187	0.10		899	6,086		維持	維持	直轄	効果	17	個	目次項目数
7								0	0								
8								0	0								
9								0	0								
10								0	0								
11								0	0								
12								0	0								
13								0	0								
14								0	0								
15								0	0								
16								0	0								
17								0	0								
18								0	0								
合計					22,599	8,260	9.73	0.00	87,512	110,111	0						



## 平成16年度 杉並区施策評価表

施策番号	17	施策名	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				上位政策名	環境に負荷を与えない持続可能な成長が可能なまちをつくるために			
施策担当課	環境清掃部 清掃管理課						関係課				
施策の概要	対象の	区民・事業者	施策の	区民生活や事業活動を環境負荷の少ないものに変え、ごみの発生抑制、資源の再利用・リサイクル・適正処理などについて、一般廃棄物処理基本計画に基づき、区民・事業者・行政が連携して実施していく。							
	成果目標	平成15年3月に改定した一般廃棄物処理基本計画に掲げる家庭系ごみの40%削減をチャレンジ目標に掲げ、その具体的なプログラムである「ごみ半減プラン」を策定する。また、容器リサイクル法等の法令を睨みながらペットボトル回収拠点の増設などによるリサイクル率の向上や廃プラスチックのサーマルリサイクル等の検討など具体的なごみ減量を着実に推進する。									
施策を取り巻く環境等	の動き、区民意見等） 清掃審議会(平成16年7月に環境審議会と統合し、環境清掃審議会として発足)で杉並中継所を10年以内に不要とするために区民・事業者と連携してごみの効率的な減量化を推進する具体的なプログラムとして「ごみ半減プラン」の検討を行った。循環型社会形成推進基本法、食品リサイクル法、容器リサイクル法などのリサイクルの促進に関わる法令の見直し・整備がすすでいる。東京都廃棄物審議会ではサーマルリサイクルなどの廃プラスチックの発生抑制・リサイクルの促進について検討が行われている(平成16年5月答申)										
施策コスト(単位千円)	区分	平成13年度		平成14年度		平成15年度		特記事項:			
	事業費	989,821		998,008		895,320					
	(内)委託費	572,680		605,355		554,758					
	職員数(人) (正規   非常勤)	35.93	15.00	42.12	15.00	33.85	10.00				
	人件費	364,539		420,212		332,037					
	総事業費(+)	1,354,360		1,418,220		1,227,357					
	(財源)国・都等からの支出金	0		0		0					
	総事業費伸び率			4.7		13.5		当該年度総事業費 / 前年度総事業費、単位%			
	人件費比率	26.9		29.6		27.1		人件費 / 総事業費、単位%			
活動指標	指標名	算式			単位	平成13年度	平成14年度	平成15年度			
	資源回収量				t	28,285	26,080	26,682			
	ペットボトル回収量				t	480	556	607			
協働等	協働が実現している事業	コンポスト容器及び家庭用生ごみ処理機購入費助成、リサイクルに向けた協働推進、ペットボトル回収、びん・缶・古紙回収、一般廃棄物処理計画改定・各種調査、プラスチック分別回収									
	主な協働の手法	委託、デポジット制度									

指標	成果指標	指標名 及び 計算式	成果・現状値			単位	目標値		
			平成13年度	平成14年度	平成15年度		平成	24	年度末
			一人一日(年間)あたりの排出ごみ(家庭系) = 家庭ごみ ÷ 10月1日人口 ÷ 365日	715	699		693	g	429g
リサイクル率	19.6	18.8	19.4	%	43.0				
ペットボトルのリサイクルコスト(1tあたり)	161,444	148,543	138,685	円					

施策を構成する状況	重点事業に位置付けられる事務事業	リサイクルのに向けた協働推進、ごみ減量運動の普及・広報、ペットボトルの回収、びん・缶・古紙回収、プラスチック分別回収
	費用対効果の高い事務事業	
	見直すべき事務事業	
	新規事業	

施策の総合評価	指標の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>排出ごみ量(家庭系)について経年的に2～3パーセントの枠の中で減少し続けている。</li> <li>資源回収量、ペットボトル回収量は前年度に比し、増加している。</li> <li>リサイクル率は平成15年後に19.4パーセントであり、前年度に比し、微増となっている。</li> </ul>
	当面の達成状況	ペットボトルの回収など年々回収量が増加しているが、回収方法などに排出者への利便性を向上させる余地がある。
	政策への貢献度	環境にやさしい資源循環型の都市への転換するために発生抑制とともにリサイクル率を向上させることが環境への負荷を軽減することである。これに大いに貢献している。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
今後の施策のあり方	<p>ごみ減量のために、リサイクル率を向上させることにより、ペットボトル回収、びん・缶・古紙回収やプラスチック分別回収を進めていく。同時に過剰包装の抑制を目的とする杉並環境賞の設置検討などごみの発生自体を抑えていくように、区民・事業者と協働しながら、普及・啓発に努めていく必要がある。</p> <p>また、排出者責任の徹底のため、レジ袋税や家庭ごみの有料化などの経済的誘導策を活用し、新たなごみの減量化を進めるための具体策を明らかにしていく。</p>

平成16年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業 - 15年度の数値)

【施策番号:17】【施策名:ごみの発生抑制及びリサイクルの推進】

費用の単位は千円

評価 番号	評価対象事業名	位置 付	事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都等 からの 支出金	コス ト	成果	協働 等	相対 性	主たる 指標 の値	単位	主たる指標の名称、式
			(内)委託費	正規	非常勤											
1	711 コンポスト容器及び家庭用生 ごみ処理機購入費助成	実計	1,815		0.22		1,979	3,794	0	減	維持	推進		555,713	kg	0.7kg × 365日 × コンポスト容器助成累積台 数(年間の生ごみ減量)
2	712 リサイクルに向けた協働推進	行革	53,907	1,342	0.64		5,756	59,663	0	維持	増	継続	重点	4,534,337	kg	集団回収量
3	714 清掃審議会の運営	実計	944		0.54		4,857	5,801	0	減	増	直轄		32	件	審議・報告案件数
4	715 ごみ減量運動の普及・広報		7,961	2,956	2.25		20,237	28,198	0	維持	維持	推進	重点	9	%	不燃ごみとして排出された中の可燃ごみの 混入率
5	718 ペットボトル回収	実計	84,182	29,699	0.00		0	84,182	0	増	増	継続	重点	25	%	ペットボトル回収率 = 回収量 ÷ (回収量 + 不燃ごみ混入量)
6	719 びん・缶・古紙回収	実計 行革	713,861	500,565	24.70	10.00	249,742	963,603	0	維持	増	推進	重点	19.4	%	リサイクル率
7	722 一般廃棄物処理計画改定・ 各種調査	実計	2,516	2,516	0.37		3,328	5,844	0	維持	増	直轄		100	%	計画策定達成率
8	723 プラスチック分別回収	実計	2,386	927	0.20		1,799	4,185	0	増	増	直轄	重点	3,548	kg	廃プラスチック資源化量(残渣量を除く)
9	727 指導管理(事業用大規模建 築物への立ち入り指導)		10		3.14		28,241	28,251	0	維持	増	直轄		7,535	t	事業用ごみの再利用料
10	733 ごみ処理手数料徴収		27,738	16,753	1.79		16,099	43,837	0	維持	維持	継続		99	%	廃棄物処理手数料の徴収率
11							0	0								
12							0	0								
13							0	0								
14							0	0								
15							0	0								
16							0	0								
17							0	0								
18							0	0								
合計			895,320	554,758	33.85	10.00	332,037	1,227,357	0							

# 平成16年度 杉並区施策評価表

施策番号	18	施策名	環境配慮行動の推進				上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために					
施策担当課	環境清掃部環境課					関係課	区民生活部課税課、区民生活部生活経済課						
施策の概要	対象の	区民、区内事業者、区内公共的団体、区・区職員及び区事務事業	施策の目標	地域における環境配慮行動を推進し、区民・事業者・行政のそれぞれが、日常生活や事業活動を環境の視点から見直すことができるようにする。により、できるだけ環境に負荷を与えない行動を自然に実践できる地域づくりを図る。									
	成果目標	地域における具体的な環境配慮行動実践のめやすとして、杉並区レジ袋削減推進協議会が設定するレジ袋削減目標(マイバッグ等持参率)である5年間で60%削減 - 15年:33%、16年:40%、17年:47%、18年:54%、19年:60% - に向けて取り組む。 区民・事業者・行政が協働して環境配慮行動に取り組み、地球温暖化の原因である二酸化炭素排出量を、2010年度までに1990年度比2%の削減をめざす。											
施策をとり巻く環境(動き、区民意見等)	地球温暖化やヒートアイランド現象など、多くの環境問題に対応するためには、わたしたちの日常生活や事業活動から生じる環境への負荷をどのように減らしていくかが課題であり、地域レベルでの具体的な環境配慮行動の普及及び促進が求められている。												
施策コスト(単位千円)	区分	平成13年度		平成14年度		平成15年度		特記事項:					
	事業費	15,963		59,769		62,354		評価対象事業・上位施策の見直し等により、本施策を構成する事務事業は各年度で異なっている。 ・15年度:7事業 ・14年度:9事業 ・13年度:4事業					
	(内)委託費	5,438		19,067		18,712							
	職員数(人)(正規   非常勤)	5.05	0.00	13.37	0.00	11.23	0.00						
	人件費	45,420		120,250		101,003							
	総事業費(+)	61,383		180,019		163,357							
	(財源)国・都等からの支出金			98		0							
	総事業費伸び率	/		193.3		9.3						当該年度総事業費 / 前年度総事業費、単位%	
	人件費比率	74.0		66.8		61.8						人件費 / 総事業費、単位%	
活動指標	指標名	算式				単位	平成13年度					平成14年度	平成15年度
	レジ袋の削減を呼びかけるチラシ等の配布枚数					枚		65,109	386,235				
	環境学習受講者数					人	32	43	158				
	自然観察ガイドブック発行部数					部			6,000				
	区の事業実施に伴い、省エネ・新エネに取り組んだ件数	省エネ機器貸出件数 + 太陽光発電補助件数				件			61				
協働等	協働が実現している事業	レジ袋削減対策 すぎなみ環境カエルクラブの活動支援											
	主な協働の手法	NPO・ボランティア・市民活動団体・企業・事業者とともに、区議会及び区が参加して設立した「杉並区レジ袋削減推進協議会」が主体となって啓発等の運動を実施している。環境配慮行動に取り組もうとする区民が自ら組織する「すぎなみ環境カエルクラブ」の活動と運営を支援することにより、環境に配慮した行動を広く地域に定着させる。											

指標名 及び 計算式	成果・現状値			単位	目標値	
	平成13年度	平成14年度	平成15年度		平成	年度末
ISO14001取得区内事業者数 (財)日本適合性認定協会の公表に基づく各年度末までにおける延べ企業数(自治体を含む。)	14	25	27	件	平成17年度 33	
マイバッグ等持参状況調査によるマイバッグ等持参率		26.2	28.7	%	平成19年度 60.0%	
杉並区全体の二酸化炭素排出量 (エネルギー種別消費量 × 排出係数)	1,718	(17年度推計値) 1,760	(22年度推計値) 1,817	千t-CO <sub>2</sub>	平成22年度 1545.2	

施策の状況	重点事業に位置付けられる事務事業	レジ袋削減対策 環境学習の推進
	費用対効果の高い事務事業	すぎなみ環境目的税
	見直すべき事務事業	すぎなみ環境カエルくらの活動支援 省エネルギー・新エネルギーの推進
新規事業		省エネルギー・新エネルギーの推進

施策の総合評価	指標の変化	ISO14001取得区内事業者数 14年度に件数の増加があったものの、全体として顕著な伸びは認められない。 マイバッグ等持参率 1年目である14年の目標値20%に対し26.2%の持参率(14年7月調査)、15年の目標値33%に対しては28.7%(15年7月調査)の状況である。 杉並区全体の二酸化炭素排出量(14年度実施の調査による状況) 民生部門を中心に一貫して増加しており、2010年度におけるエネルギー起源の二酸化炭素排出量は1990年(基準年)度比で約15%増と推計される。
	当面の達成成果状況	ISO14001取得区内事業者数:システム構築・維持に一定のコスト・人員の負担を要することから、小規模事業者を主とする杉並区の産業構造上、現状では大幅な増加は見込みにくく、取得支援の検討が必要である。 マイバッグ等持参率:レジ袋削減推進協議会を中心とした運動により、レジ袋使用抑制の気運・行動が展開されつつあるが、区民等の意識に訴える手法には限界があり、今後の削減目標達成に向けての対応を図る必要がある。 杉並区全体の二酸化炭素排出量:目標達成に向けては、国等の施策と連携した区の総合的な施策の推進、区民・事業者の理解と取組みが必要である。
	政策への貢献度	本施策は、区民・事業者・行政が日常生活や事業活動と地域の環境との関わりに気付き、見直し、行動することを通して、上位政策である「環境に負荷を与えない持続可能なまちづくり」の実現を図るものである。レジ袋削減や省エネルギー行動は、誰でもすぐに実践できる具体的な環境配慮行動であり、環境カエルくらは環境配慮行動を地域に広げ根付かせていくための核となりうるものである。また、環境に係る学習機会の整備、環境情報の提供及び行政の率先行動(ISO14001)は、環境に関する区民・事業者の理解と関心を深め、取組みの契機として政策の推進に寄与するものである。多くの環境問題が、日常生活や事業活動から生じる環境への負荷に起因することを考えると、地域における環境配慮行動の推進は、政策実現に不可欠である。

今後の施策の方向	○ 拡充    ● サービス増    ○ 改善余地なし    ○ 効率化    ○ 縮小    ○ 統廃合
今後の施策のあり方	区民・事業者による自主的な取組みに対する支援、学習機会の整備や学習意欲の喚起、丁寧で分かりやすい情報の提供を行い、地域における具体的で継続的な環境配慮行動の一層の推進を図る。 なお、レジ袋削減については、今後の削減目標とマイバッグ等持参の状況、レジ袋削減推進協議会における論議等を踏まえ、家庭ごみの有料化など廃棄物全体を対象とした施策との整合に留意しつつ、レジ袋の有料化・すぎなみ環境目的税の施行を含めた検討を行う必要がある。

平成16年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業 - 15年度の数値)

【施策番号:18】【施策名:環境配慮行動の推進】

費用の単位は千円

評価 番号	評価 番号	評価対象事業名	位置 付	事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都等 からの 支出金	コス ト	成果	協働 等	相対 性	主たる 指標 の値	単位	主たる指標の名称、式
				(内)委託費	正規	非常勤											
1	116	すぎなみ環境目的税	行革	225	0	1.93	0.00	17,358	17,583	0	維持	維持	推進	効果	40,700	枚	すぎなみ環境目的税の周知用リーフレット作成枚数
2	140	レジ袋削減対策		33,513	8,295	5.22	0.00	46,949	80,462	0	減	増	推進	重点	28.7	%	マイバッグ等持参状況調査によるマイバッグ等持参率
3	683	環境学習の推進	実計	2,437	329	0.50	0.00	4,497	6,934	0	減	増	推進	重点	158	人	環境学習受講者数
4	684	すぎなみ環境カエルクラブの活動支援	実計	1,563	0	0.80	0.00	7,195	8,758	0	減	増	推進	見直	60	人	会員登録数
5	692	ISO14001の推進		1,862	1,280	1.34	0.00	12,052	13,914	0	増	増	推進		11,428,084	kg CO <sub>2</sub>	主な省エネルギー・省資源の実績による二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量
6	706	自然保護の啓発	実計	9,093	8,808	0.10	0.00	899	9,992	0	減	維持	直轄		6,000	部	自然観察ガイドブック発行部数
7	707	省エネルギー・新エネルギーの推進	実計	13,661	0	1.34	0.00	12,052	25,713	0	維持	増	推進	見直	61	件	区の事業実施に伴い、省エネ・新エネに取り組んだ件数
8								0	0								
9								0	0								
10								0	0								
11								0	0								
12								0	0								
13								0	0								
14								0	0								
15								0	0								
16								0	0								
17								0	0								
18								0	0								
合計					62,354	18,712	11.23	0.00	101,003	163,357	0						

# 平成16年度 杉並区施策評価表

施策番号	19	施策名	公害の防止		上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために		
施策担当課	環境課				関係課			
施策の概要	対象	区民、区民等の生命、健康 工場等の事業者 大気汚染状況 道路交通騒音・振動の状況など	目標	大気汚染や自動車交通騒音、工場などの事業場から発生する悪臭などの公害の防止を図ることにより、区民の生命、健康、財産等を守る。				
	成果目標	大気測定を行っている4つの測定室のうち、3つの測定室では二酸化窒素、浮遊粒子状物質などの大気環境基準を超過している。このうち1室を環境基準以内とする。また、自動車交通騒音については、調査23地点中13地点では、夜間の時間帯における要請限度を超過しており、これらの地点の1～2割程度で1～2dBの減衰を目標とする。						
施策を取り巻く環境（動き、区民意見等）	<p>大気汚染の主な原因になっているディーゼル車の単体規制の強化（新短期規制）が国で実施され、また、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県では、ディーゼル車の走行規制が平成15年10月から実施された。平成17年度には、国においては新長期規制の実施、都においてはディーゼル車規制の規制基準の強化が予定されている。</p> <p>また、道路近くに居住する区民から、自動車の騒音や大気汚染が気になる、測定してほしい、などの要望が10件ほどある。そのほか、騒音・振動関連で135件ほど、大気汚染関連で60件ほど、悪臭関連で30件ほど、その他で30件ほどの苦情相談がある。</p>							
施策コスト（単位千円）	区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	特記事項：			
	事業費	58,480	62,316	73,359				
	（内）委託費	52,513	51,155	51,526				
	職員数（人） （正規   非常勤）	10.70	10.70	10.65				
	人件費	96,236	96,236	95,786				
	総事業費（ + ）	154,716	158,552	169,145				
	（財源）国・都等からの支出金	0	0	0				
	総事業費伸び率		2.5	6.7	当該年度総事業費 / 前年度総事業費、単位%			
	人件費比率	62.2	60.7	56.6	人件費 / 総事業費、単位%			
活動指標	指標名	算式		単位	平成13年度	平成14年度	平成15年度	
	大気常時測定地点数			地点	5	4	4	
	道路交通騒音調査地点数			地点	23	23	23	
	苦情相談件数			件	215	224	237	
	調査、指導、届出受理件数			件	1,940	2,004	1,931	
協働等	協働が実現している事業	685低公害車の普及促進、687環境モニタリング調査、697公害防止意識の啓発、698自動車排出ガス測定、699交通騒音振動測定、700交通量調査、702大気汚染常時測定、704光化学スモッグ対策、705冬期自動車交通量対策						
	主な協働の手法	調査委託や印刷委託、事業協力						

指標	成果指標	指標名 及び 計算式	成果・現状値			単位	目標値		
			平成13年度	平成14年度	平成15年度		平成	18	年度末
			大気質測定数値(区役所測定室の二酸化窒素(NO2)及び浮遊粒子状物質(SPM)の年平均値)	NO2 0.038 SPM 0.047	NO2 0.042 SPM 0.043		NO2 0.040 SPM 0.042	ppm mg/ℓ	NO2 0.035 SPM 0.045
自動車交通騒音レベル(昼間・夜間) 調査地点:高井戸西一丁目	74・75	74・75	75・76	dB	72・71				
公害(6大)苦情発生件数 大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、 土壌汚染	215	224	237	件	200				

施策を構成する状況	重点事業に位置付けられる事務事業	○大気汚染常時測定○苦情処理・相談○自動車交通騒音測定○公害監視、調査、指導
	費用対効果の高い事務事業	
	見直すべき事務事業	
	新規事業	

施策の総合評価	指標の変化	大気汚染測定数値や自動車交通騒音レベルは、ここ数年横ばいを続けている。
	当面の達成率・目標の状況	より厳しい自動車の排気ガス規制対策(ディーゼル車規制など)や低公害車の普及促進、ロードプライシングなどの交通規制、緩衝緑地帯や緩衝建築物の誘導などの公害防止対策が講じられなければ、目標を達成することが困難な状況である。
	政策への貢献度	大気汚染や自動車交通騒音は、依然、深刻な状況であり、これらの公害を改善していくための基礎的資料を得るための測定調査を実施している。また、区には、さまざまな原因によって、騒音や振動、悪臭等の苦情・相談が寄せられている。これらの公害を一つ一つ解決していくことによって、環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちの実現に直接的・間接的に貢献している。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
今後の施策のあり方	大気汚染や自動車交通騒音等の基礎的資料の収集と苦情・相談の受け付け・処理等の公害の防止施策は、環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちの実現に貢献しており、今後も継続していく。また、自動車公害等、区独自では解決の困難な公害についても、従来のディーゼル車から低公害車への買い替え助成事業等を実施していく。



平成16年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業 - 15年度の数値)

【施策番号: 19】【施策名: 公害の防止】

費用の単位は千円

評価 番号	評価対象事業名	位置 付	事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都等 からの 支出金	コス ト	成果	協働 等	相対 性	主たる 指標 の値	単位	主たる指標の名称、式
			(内)委託費	正規	非常勤											
1	685 低公害車の普及促進	実計	12,137	210	0.25		2,249	14,386		維持	維持	継続		16,561	台	天然ガス自動車保有台数(国)
2	687 環境モニタリング調査		23,322	23,310	0.60		5,396	28,718		維持	維持	継続		4	回	報告書の発行回数
3	695 公害監視、調査、指導		11,608	11,471	1.40		12,592	24,200		維持	維持	継続	重点	1,931	件	調査、指導、届出受理件数(届出総数、重油調査件数、立入り及び指示総数)
4	696 苦情処理、相談		247		3.00		26,982	27,229		維持	維持	直轄		739	件	巡回・立ち入り・指導件数
5	697 公害防止意識の啓発		0	0	0.55		4,947	4,947		維持	維持	継続		0	部	発行部数
6	698 自動車排出ガス測定		4,259	4,033	0.45		4,047	8,306		維持	維持	継続		0.038	ppm	沿道付近地域の二酸化窒素濃度の単純 平均値(ppm)
7	699 交通騒音振動測定		2,595	2,520	1.25		11,243	13,838		維持	維持	継続	重点	4.5	%	夜間の環境基準達成率
8	700 交通量調査		1,943	1,943	0.10		899	2,842		増	維持	継続		73,634	台	環状8号線井荻トンネル自動車交通量
9	701 鉄道騒音振動測定		13		0.15		1,349	1,362		維持	維持	直轄		8	地点	調査地点数
10	702 大気汚染常時測定		16,677	7,787	1.35		12,142	28,819		維持	維持	継続	重点	0.042	ppm	区役所前測定室の二酸化窒素濃度の年 平均値
11	703 河川水質調査		15		0.55		4,947	4,962		維持	維持	直轄		100	%	溶存酸素の環境基準達成率
12	704 光化学スモッグ対策		445	252	0.90		8,095	8,540		維持	維持	継続		5	日	発令連絡日数
13	705 冬期自動車交通量対策		98		0.10		899	997		維持	維持	継続		577	件	自動車使用抑制要請件数
14							0	0								
15							0	0								
16							0	0								
17							0	0								
18							0	0								
合計			73,359	51,526	10.65	0.00	95,786	169,145	0							

# 平成16年度 杉並区施策評価表

施策番号	20	施策名	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために					
施策担当課	環境清掃部 清掃管理課						関係課	杉並清掃事務所					
施策の概要	対象の施策	個人・世帯・事業者	施策の目標	日々の排出指導により、ごみと資源の分別の周知・徹底を図る。それにより、ごみへの資源の混入を防止し、リサイクル率の向上、ごみの減量による最終処分場の延命化を図る。									
	成果目標	ごみの分別の周知徹底(資源物の拡充)、ごみ収集・運搬の更なる効率化の推進、午前中収集の実現などの収集サービスの向上。											
施策を取り巻く環境等(動き、区民意見等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終処分場の延命(中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場の利用期限が30年程度と見込まれている)</li> <li>・循環型社会実現の社会的要請と関連法案の整備の進展</li> <li>・杉並中継所を不要とする分別・リサイクル率の向上と不燃ごみの減量の必要性の具体化計画であるごみ半減プランの検討。</li> <li>・東・西清掃事務所の統合化(平成16年4月組織改正)。</li> </ul>												
施策コスト(単位千円)指標	区分	平成13年度		平成14年度		平成15年度		特記事項:					
	事業費	4,677,758		4,526,962		4,496,625							
	(内)委託費	163,477		156,407		199,940							
	職員数(人) (正規   非常勤)	302.36	49.00	284.44	46.00	284.99	49.00						
	人件費	2,854,617		2,685,167		2,698,391							
	総事業費(+)	7,532,375		7,212,129		7,195,016							
	(財源)国・都等からの支出金	4,527		1,995		1,995							
	総事業費伸び率	/		4.3		0.2						当該年度総事業費 / 前年度総事業費、単位%	
	人件費比率	37.9		37.2		37.5						人件費 / 総事業費、単位%	
活動指標	指標名	算式			単位	平成13年度	平成14年度					平成15年度	
	可燃・不燃・粗大ごみ量				t	135,497	133,269	132,587					
	ごみ量減量率				%	2	2	1					
	ごみ処分量(資源物を除)				t	151,872	153,390	151,118					
	資源化率(ごみ量の中の資源の率)				%	20	19	17					
協働等指標	協働が実現している事業	ごみの収集・運搬 浄化槽維持管理 清掃協力会 清掃事務所維持運営 清掃事業所の施設、建物の維持管理 清掃車両(ごみ収集車)の運行及び維持管理 し尿・粗大ごみ中継作業											
	主な協働の手法	業者及びNPO法人等への委託又は情報交換等											

指標名 及び 計算式	成果・現状値			単位	目標値		
	平成13年度	平成14年度	平成15年度		平成	18	年度末
1トンあたりのごみ処理費用(収集・運搬) 総事業費 / 可燃・不燃・粗大ごみ量	56	54	54	千円			52
1人あたりのごみ処理費用(収集・運搬) 総事業費 / 10月1日現在の総人口	15	14	14	千円			13
カラス被害のある集積所 集積所数 × サンプル苦情 / サンプル集積所		342	371	件			330

施策を構成する状況	重点事業に位置付けられる事務事業	交通安全対策・安全管理  ごみの収集運搬
	費用対効果の高い事務事業	ふれあい指導  不燃ごみ中継作業
	見直すべき事務事業	清掃車両(ごみ収集車)の運行及び維持管理
	新規事業	

施策の総合評価	指標の変化	・1トンあたりのごみ処理費用、及び1人あたりのごみ処理費用は年度によって若干の増減があるが、大きな変動はない。
	当面の達成成果目標の	・効率的な収集作業を行うことにより1トン当たり及び1人あたりのごみ収集コストの減額を図る。 ・ごみ容器出しや防鳥ネットの利用を促進するとともにカラスの減少もあり、集積所の美化を推進する。 ・ごみの組成調査の結果を踏まえ、資源物との分別率のさらに向上を図る。
	政策への貢献度	ごみの発生抑制とあいまって、資源物との分別の徹底を図り、排出の適正化を推進することで環境への負荷の軽減に寄与している。

今後の施策の方向	○ 拡充    ● サービス増    ○ 改善余地なし    ○ 効率化    ○ 縮小    ○ 統廃合
今後の施策のあり方	区民に対して資源分別の徹底を図るとともに行政と区民との協働の原則による新たな関係を創造し、ごみの減量・適正処理を進めていく必要がある。今後、ごみの排出の適正化と収集サービスの向上のために午前中収集や家庭ごみの有料化、個別収集などを検討していくべきものと考えている

平成16年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業 - 15年度の数値)

【施策番号:20】【施策名:ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上】

費用の単位は千円

評価 番号	評価 番号	評価対象事業名	位置 付	事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源)国・ 都等から の支出金	コス ト	成果	協働 等	相対 性	主たる 指標 の値	単位	主たる指標の名称、式
				(内)委託費	正規	非常勤											
1	713	総務管理		10,327		2.71		24,374	34,701	0	増	増	直轄		353	人	清掃事業従事職員数
2	717	交通安全対策・安全管理		10,685	36	1.40		12,592	23,277	0	維持	増	直轄	重点	14	件	交通事故等発生件数
3	720	ごみの収集・運搬	実計 行革	992,296	82,864	194.70	37.00	1,853,215	2,845,511	0	減	増	直轄	重点	99	%	ごみ量減量率
4	721	一部事務組合等負担金		2,418,856		0.22		1,979	2,420,835	0	維持	維持	直轄		151,118	t	ごみ処理量(資源物を除く)
5	724	浄化槽維持管理		15		0.32		2,878	2,893	0	維持	維持	直轄		76	基	浄化槽設置数
6	726	清掃協力会		657	657	0.92		8,274	8,931	0	維持	増	推進		17	%	資源化率(ごみ量中の資源の率)
7	728	ふれあい指導		2,955		10.89		97,945	100,900	0	増	増	直轄	効果	22	%	不燃ごみの資源混入率
8	729	清掃事務所維持運営	実計	97,274	22,991	4.68	2.00	47,610	144,884	0	維持	維持	直轄		59	件	(代)不具合件数
9	730	清掃事業所の施設、建物の 維持管理		49,084	25,297	4.10	2.00	42,393	91,477	0	減	維持	直轄		4,700	m <sup>2</sup>	施設の延床面積
10	731	清掃車両(ごみ収集車)の運 行及び維持管理		72,528	65	48.39	2.00	440,738	513,266	1,995	維持	維持	継続		99	%	配車率 = 配車台数 ÷ 計画台数
11	732	不燃ごみ中継作業	実計 行革	684,466	42,993	13.20	6.00	135,275	819,741	0	維持	増	直轄		73	%	(杉並・中野・練馬区の不燃ごみ中継量 ÷ 杉並・中野・ 練馬区の不燃ごみ収集量) × 100
12	735	し尿・粗大ごみ中継作業		157,482	25,037	3.46		31,119	188,601	0	維持	増	推進		461	台	し尿運搬台数
13								0	0								
14								0	0								
15								0	0								
16								0	0								
17								0	0								
18								0	0								
合計				4,496,625	199,940	284.99	49.00	2,698,391	7,195,016	1,995							